

デジタルトランスフォーメーション(DX)って何?

政策調査部 次長 丸山 雄平(まるやま ゆうへい)

デジタルトランスフォーメーションとは

近年、「デジタルトランスフォーメーション(以下、DX)」が注目されています。DXとは、スウェーデンのウメオ大学エリック・ストルターマン教授によって提唱された「情報通信技術(以下、ICT)の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念で、「デジタル革新」とも言われています。

急速なICTの進展により、国民生活やビジネス環境が大きく変化中、社会課題の解決や持続的な経済成長を実現するためには、社会全体のデジタル化の推進が必要不可欠となっています。

経団連が2018年11月に提言した「Society 5.0 ーともに創造する未来ー」では、Society5.0で目指す社会を「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する社会」と定義しています(資料1)。

また、政府でもSociety 5.0時代にふさわしい行政サービスを国民一人一人が享受できるよう、デジタル・ガバメントの構築を目指しています。

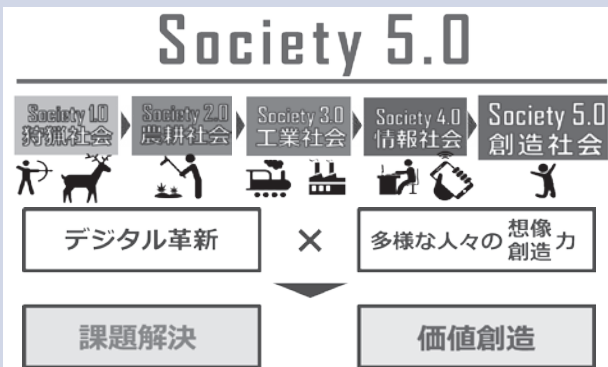
これからの企業経営におけるDXの取り組み

企業においてDXの推進が急務となる一方、我が国においては、これまでに構築したITシステムや情報資産の肥大化・複雑化が、迅速なDXの推進を阻む一つの要因となっています。

経済産業省が発表したレポートでは、企業が既存のITシステムを放置した場合、2025年以降レガシーシステム(稼働後20年超)の割合が、10年前と比べて3倍の約60%に増加し、経済損失は最大約12兆円/年生じる可能性を指摘しています(資料2)。

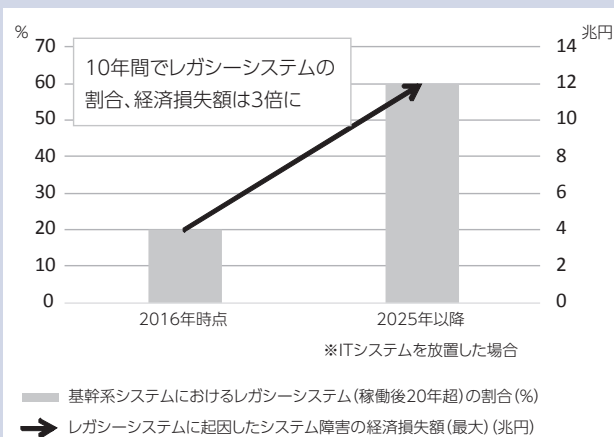
これからの企業経営においては、これまでに構築したITシステムや情報資産など「守りのIT」と、AIやIoTといった先端技術など「攻めのIT」を連携し効率的に活用することで、2つの異なるモード(形態)の相乗効果を引き出し、新たな付加価値を生み出すことが求められています(資料3)。

資料1 Society5.0で目指す社会



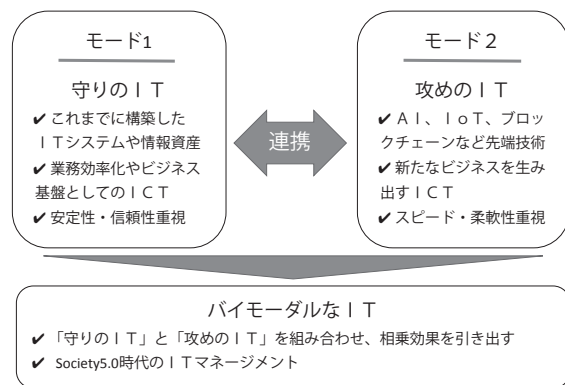
(出所) 経団連「Society 5.0 ーともに創造する未来ー」より

資料2 レガシーシステムの割合と経済損失額



(出所) 経済産業省「デジタルトランスフォーメーションレポート ～ITシステムの崖」の克服とDXの本格的な展開～」より第一生命経済研究所作成

資料3 企業経営における「守りのIT」と「攻めのIT」



(出所) 総務省「平成の情報化に関する調査研究」より第一生命経済研究所作成